

南阿蘇村商工会

■青年部県外視察 研修の実施

11月1日、2日の2日間にわたり、村商工会青年部の県外視察研修を福岡県にて実施し、9人の青年部員が参加しました。

1日目の福岡市内の研修では、外国人観光客に人気の高いオープントップバスに乗り込みました。福岡市役所前を出発し、ヤフオクドームや福岡タワー、シーサイドももち周辺を回遊しました。

午後からはアサヒビール工場の見学ツアーに参加し、90分間かけてじっくりとビールの製造工程などを見学しました。

2日目は糸島市へ移動し、海産物が多く並ぶ物産館の視察。博多らーめんの人気店である一蘭の工場がある「二蘭の森」の視察を実施しました。

今回はスケジュールの関係上、参加者が少なくなりましたが、新入部員の参加もあって賑やかな視察研修となりました。



■くまもと物産 フェアが開催さ れました！

11月3日、4日の2日間、グランメッセ熊本にて「第23回くまもと物産フェア」が開催されました。

この物産フェアは、熊本県商工会連合会が主催するもので、県内の特産品1万点以上が集結する、年に一度の大物産展です。ステージイベントではくまもん体操、ミス・ユニバース熊本大会ファイナリストのトークショー、アイディアロボット競技大会なども行われました。

今年も村商工会ブースで

は、村商工会女性部がお弁当や珈琲、農産物などを販売し、昨年に引き続き商工会の村ブランド化事業である「みなみあそくら」のめぐみが売店をし、認定品の中から約15点(常温品に限る)を代行販売しました。また、村商工会会員事業者様からは、美味しい料理コーナーや厳選マルシェコーナー、伝統工芸品コーナーにご出展いただき、こちらも大盛況だったようです。

今回、厳選マルシェに出展された(資)喜多食品(南阿蘇自然派ソフト)様は、肥後もつこすのうまかもん人気投票にもご参加いただき、新商品である瑠璃色アイスクリームベリーアイスの無料試食を参加者500人に行いました。

2日間とも晴天に恵まれ、昨年を上回る来場者を記録しました。



南阿蘇 消費者 相談室から

Vol.68

思いがけない高額請求！ チラシを見て頼んだ廃品回収

【事例1】 他県に住む親がチラシを見て、廃品回収を事業者者に依頼した。チラシには「廃品回収代金」が8万円と書かれていたが、実際には47万円請求され、支払ってしまった。

(80歳代男性)

【事例2】 不用品の処分をしてもらおうと、投げ込みチラシの事業者者に電話をすると、「費用は3万円くらい」と言われたが、来訪すると30万円を提示された。高いとは思ったが、仕方なく支払った。

(60歳代女性)

《ひとこと助言》

● 投げ込みチラシなどを見て事業者者に廃品回収を依頼する場合、チラシに記載されている金額で契約で

きるとは限りません。事前に複数の事業者から見積もりを取り、料金だけでなく作業内容も比較検討しましょう。

● 作業終了後に突然高額な金額を請求されるケースもあります。契約時や作業開始前に追加料金がないか確認しましょう。

● 作業時は家族や周りの人に立ち会ってもらうことも大切です。

● チラシ以外でも電話勧誘をする事業者やインターネット上にも事業者の広告が掲載されています。事業者を選ぶ目が必要です。

● 不審に思ったなら、支払う前に南阿蘇消費者相談室にご相談ください。

【お問い合わせ】

南阿蘇消費者相談室
Tel (67) 2244
相談日 火曜・木曜日
午前10時～午後3時
旧久木野庁舎
※巡回相談日を除く